

第17回 エル・フェスタ in 北河内西

発達に特性がある 学生の支援を考える

教育と福祉の連携をめざして



2024.12.06 | エル・フェスタ in 北河内西実行委員会



第17回 エル・フェスタ in 北河内西

発達に特性がある 学生の支援を考える

～ 教育と福祉の連携をめざして～

1

地域の福祉・支援の状況

障がい者就労支援の現場より

2

当事者インタビュー

卒後手帳を取得し、就労移行支援事業所での訓練を経て障がい者雇用で就労する当事者3名

3

就労で求められる力とは！？

社会へ出てからの困りごとを減らすために

4

教育・福祉の連携について

保護者と先生のインタビュー

5

障がい福祉の支援について

地域の障がい福祉の支援についてご紹介



障がい者 就労支援の現場において

手帳未取得のまま進学し、就活や一般就労でうまくいかず困難を経験。自己評価が低下したりうつ病等の二次障がいを負った末に、支援につながるケースがみられる。

(背景)

○進学率の上昇

→R5度大阪の学校統計より

中学校卒業後の高等学校等進学率は98.5%。

高等学校卒業後の大学等進学率は67.6%（過去最高）、専修学校（専門課程）

進学率は14.1%、就職者の割合は8.4%（過去最低）。

→文部科学省の調査によれば、中学校3年生のうち発達障がい等困難のある生徒の割合は2.9%、そのうち75.7%が高等学校に進学予定（H21年）。

○守口市・門真市の地域性

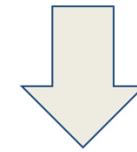
→守口市・門真市とも、知的障がい・精神障がいのある方の人口割合が高い。

知的：守口市1.27%・門真市1.32%・全国0.97%

精神：守口市1.32%・門真市1.53%・全国1.01%

しかし . . .

中には、過去に周囲から指摘されていたり、
放課後等デイサービスを利用していたケースも . . .



周囲で気づきがあっても、学校卒業後支援や見守りが途切れ、結果当事者が
苦勞する期間を、どうすれば少しでも減らせるのか???



当事者、保護者のインタビューや先生との連携事例をご紹介しますながら、
私たちに何ができるか、皆様と一緒に考える機会となれば幸いです。



Case 1. Aさん

○障がい：ADHD

○現在のお仕事：ドラッグストアでの品出し





Aさん まとめ

【学生時代の困りごと】

- ・算数の理解が難しかった。→マンツーマンで教えてもらうとわかりやすかった。
- ・女友達を怒らせてしまうことがあった。→具体的に言われて失礼だったと気づいた。

【障がいの気づきと手帳取得のきっかけ】

- ・中学時に診断されたが、手帳は取得せず。一般雇用での就労でうまくいかず手帳取得。

【支援機関につながるきっかけ】

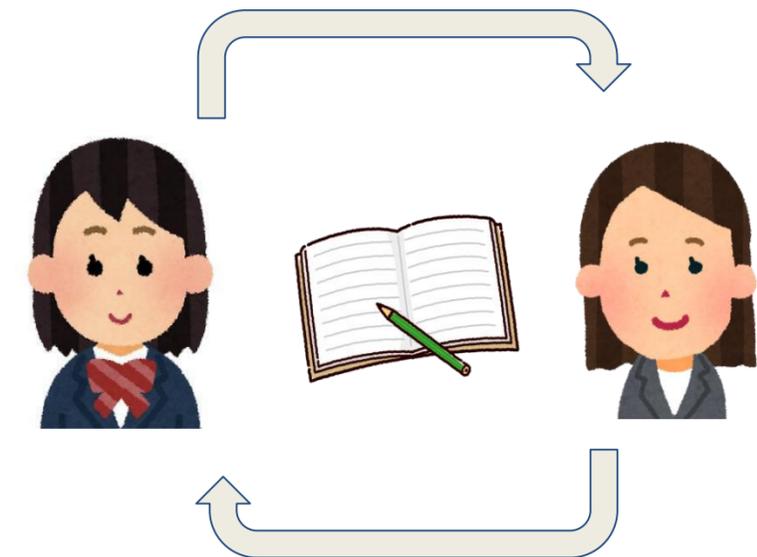
- ・障がい福祉課→わーくぷらす→JSN

【訓練で取り組んだこと】

- ・仕事の適正把握
- ・支援者への相談
- ・質問の仕方
- ・苦手意識の克服

【学生時代に】

- ・自分から発信するのはハードルが高い。
→他の生徒に知られずに相談できる場やツールがあればよかった。



Case 2. Bさん

○障がい：知的障がい

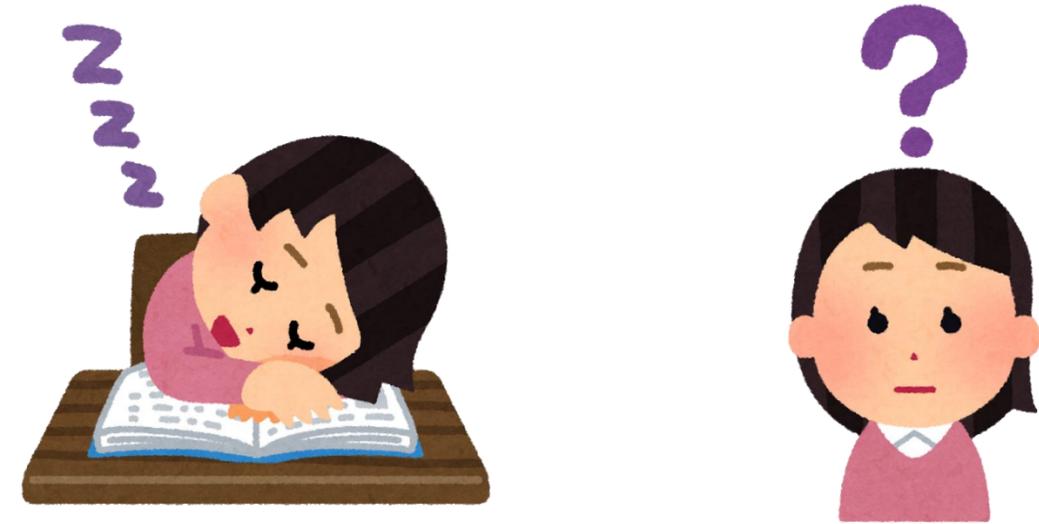
○現在のお仕事：お菓子屋さんでの製造・販売



Bさん まとめ

【学生時代の困りごと】

- ・ 集団に溶け込めず孤立。
- ・ 授業中寝てしまい授業についていけず。



【障がいの気づきと手帳取得のきっかけ】

- ・ 20歳頃母がADHDを疑い受診。知的障がいと診断され受け入れられなかったが、一般雇用での就労がうまくいかず母の勧めで手帳取得。

【支援機関につながるきっかけ】

- ・ 医療機関→わーくぷらす→JSN

【訓練で取り組んだこと】

- ・ 質問のタイミングをつかむ。
- ・ 分からないことをそのままにしない。
- ・ 人との適切な距離をはかる。

【学生時代に】

- ・ 声かけしてくれ、相談できる人がいればよかった。



Case3. Cさん

- 障がい：知的障がい・発達障がい
- 現在のお仕事：会社内の清掃（特例子会社）





Cさん まとめ

【学生時代の困りごと】

- ・ 中学から勉強についていけなかった。怒られるかとも思い先生に言えなかった。
- ・ いじめがあったが、友達のサポートで先生に相談できた。先生は注意してくれた。

【障がいの気づきと手帳取得のきっかけ】

- ・ 大学卒業時、母親から障がいがあることを聞いた。
- ・ 母親から手帳取得した方が働きやすくなるのでは？と言われて。

【支援機関につながるきっかけ】

- ・ 親→わーくぷらす→JSN

【訓練で取り組んだこと】

- ・ 規則正しい生活
- ・ 仕事の適正把握
- ・ 傷ついた時の対処法

【学生時代に】

- ・ 悩みや困りごとについてもっと相談できるとよかった。



就労で求められる力

～発達に特性のある方が安定して働くためには～

3

就労で求められる力

学校と就労場面で困るポイントは共通しているが、仕事として求められた時に見過ごせなくなる。

【就労で求められる力】

- 職種や環境の適性把握
- 質問や相談など自己発信する力
- 体調や勤怠の安定 など...

受容

障がい発覚時は受け入れられないことも多いが、周囲の理解が得られ受け入れられると本人の受容も進む。

ご本人が受け入れられ、相談できる場が必要

就労に必要な課題に取り組める場や、相談できる場が地域にある。



Case4. Dさん

- 障がい：知的障がい・発達障がい
- 現在のお仕事：製造業の出荷作業



① 職場の状況



② 保護者インタビュー



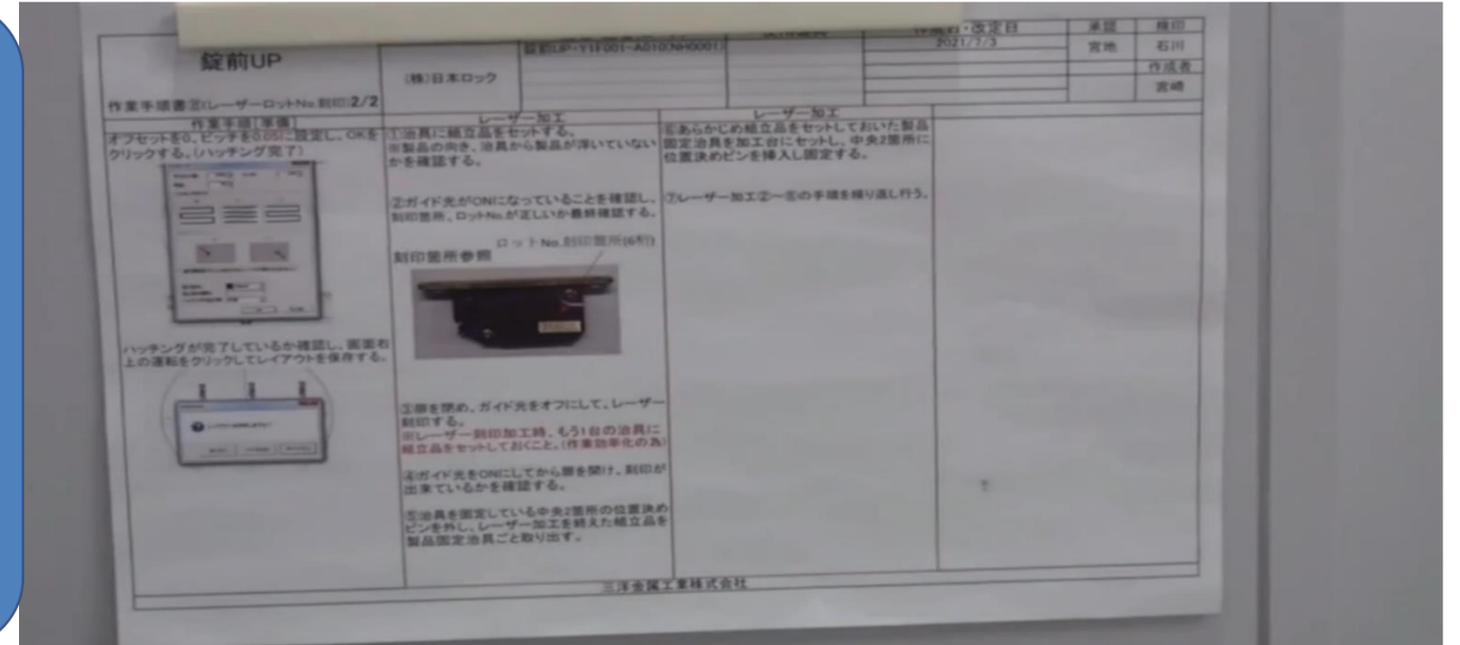
③ 先生インタビュー

特性に配慮した職場での取り組み



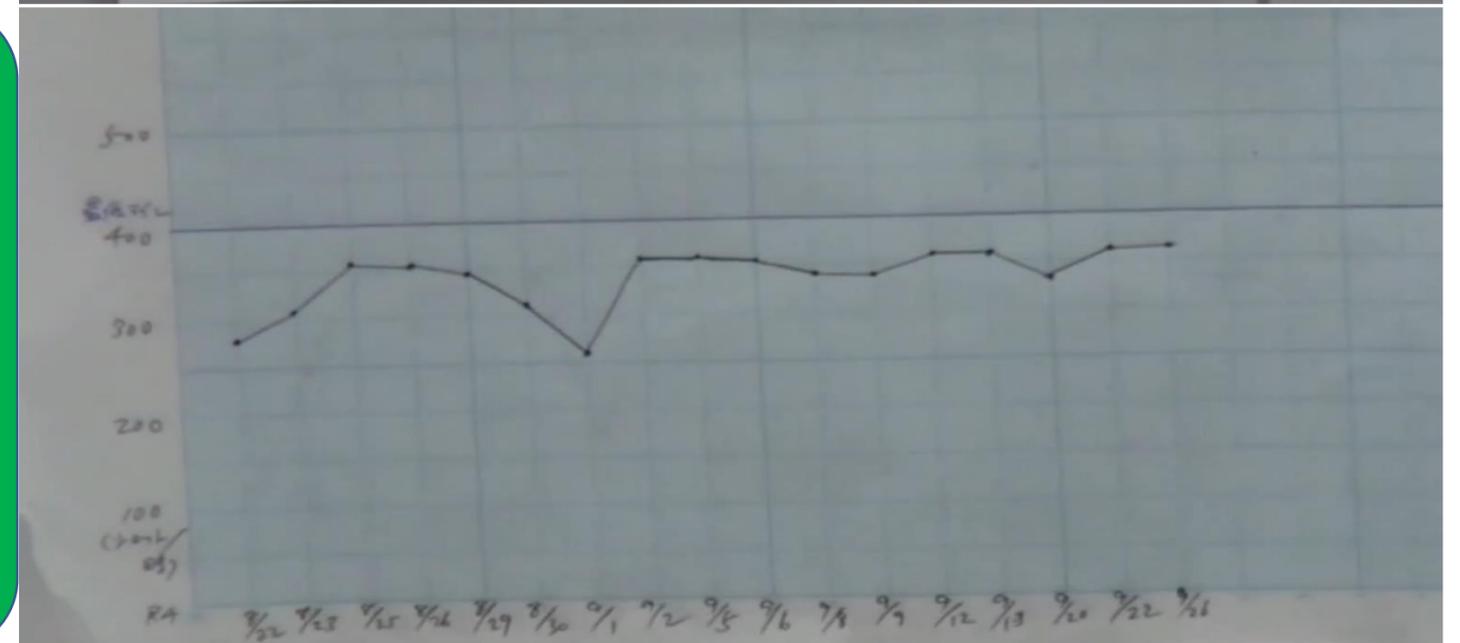
生産管理課
Eさん

マニュアルがある
ので安心
できる



生産管理課
Fさん

自分のペ
ースを視
覚で確認
できる



卒業後の安心のために...

- ・ 親亡き後の心配。
- ・ 中学卒業後一般校を選択すると、情報が入らなくなった。

- ・ 卒業後の心配。一人では困るのではないかと...
- ・ 立場によって動ける範囲が違う。



保護者



先生

本人が困った時に相談できる場があると安心！

気になる生徒やその保護者に、必要に応じて支援機関やサービスについての情報提供や連携を！



支援機関紹介



- 1 障害者就業・生活支援センター
- 2 市役所（障がい福祉課）
- 3 相談支援事業所
- 4 就労移行支援事業所
- 5 就労継続支援A型事業所
- 6 就労継続支援B型事業所
- 7 ハローワーク（専門援助部門）
- 8 府立支援学校

障害者就業・生活支援センター



支援概要

◎ 就労を希望される障害のある方の支援

- …障害特性や課題を把握し、就労準備が必要な方には就労移行支援事業所等へのご紹介や訓練状況の確認を行い、就労に向けた準備支援をサポートします。
- …就職活動前の企業への面接同行支援、雇用後の職場訪問、面談等のフォローアップをします。

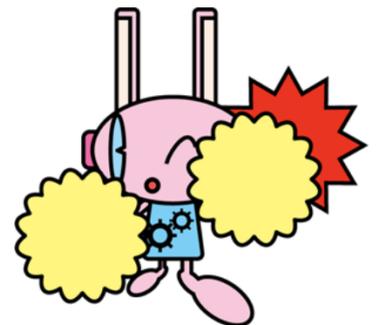
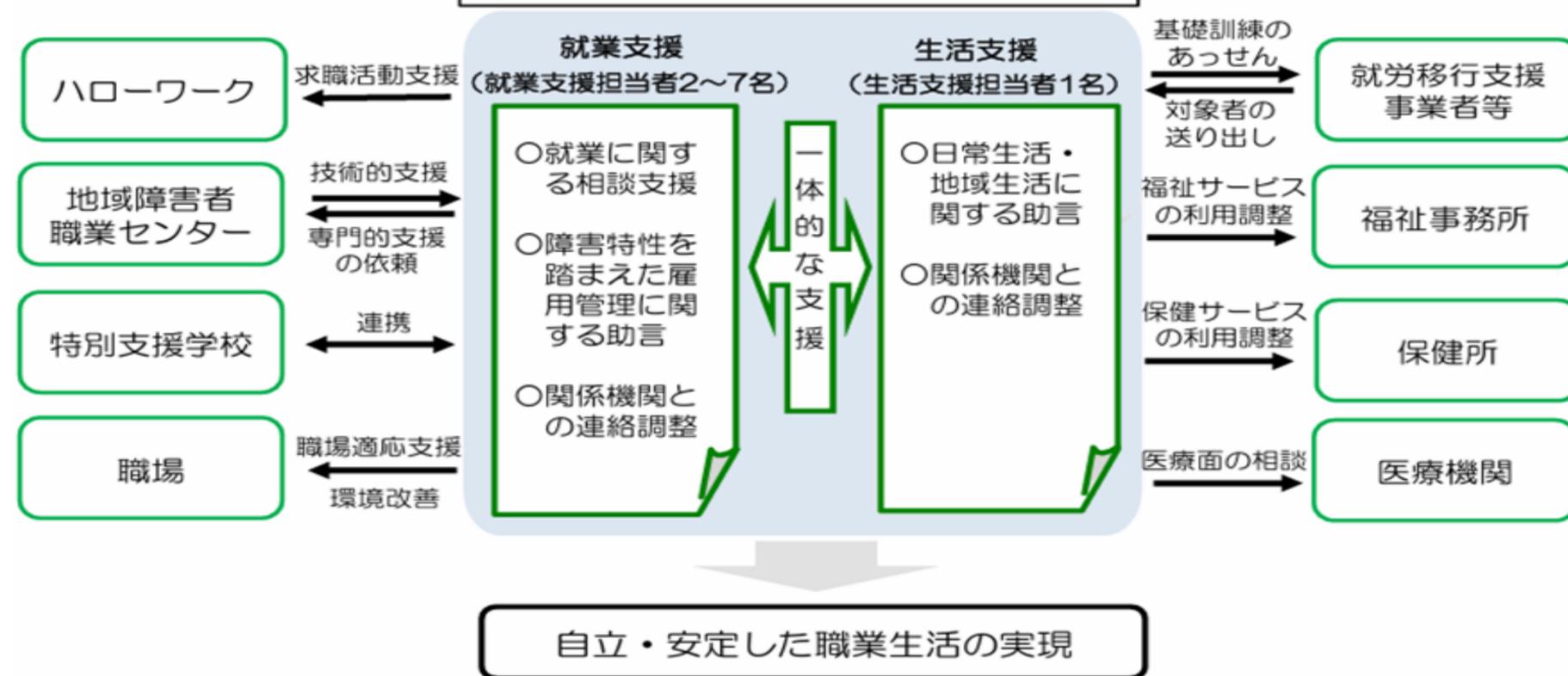
◎ 日常生活に関わる支援

- …本人が就労するため、就労継続をするために関わる生活面の支援を関係機関と連携し実施します（他の福祉サービスの活用、保健所・医療機関等との連絡調整、グループホーム居住支援等）。

◎ 企業への雇用管理に関する支援

- …採用された障害のある方の職場定着支援や雇用に関わる相談支援を行います。

障害者就業・生活支援センター





市役所 (障がい福祉課)

障がい福祉サービス

障がい福祉サービスとは、障がいや難病のある児、者に対し、障害者総合支援法、児童福祉法に基づくサービスの総称である。

障がい者（18歳以上）のサービスには、大きく分けて障がい支援区分を取得しないと利用できない①介護給付と取得せずとも、利用できる②訓練等給付がある。障がいサービスを利用している方は③計画相談支援給付費を利用し、“計画相談員”と呼ばれる「相談支援専門員」が支援をしている場合がある。

自立支援給付

①介護給付

- ・ 居宅介護（ヘルパー）
- ・ 同行援護
- ・ 行動援護
- ・ 短期入所（ショートステイ）
- ・ 生活介護（デイサービス）

など

②訓練等給付

- ・ 自立訓練
- ・ 就労移行支援
- ・ 就労継続支援（A型、B型）
- ・ 就労定着支援
- ・ 共同生活援助（グループホーム）
- ・ 自立生活援助

③計画相談支援給付費

※自立支援給付の一部抜粋



相談支援事業所

【主な役割】 相談支援体制は、下記の3層構造に役割、機能が分かれています。

①基幹相談支援センター事業

地域の総合相談・専門相談窓口として、相談内容に応じて、適切な支援機関と連携を図り、サポート体制を築きます。

【守口市】	【門真市】
守口市基幹相談支援センター	門真市障がい者基幹相談支援センター えーる

②委託相談支援事業(知的・身体・精神・児童)

障がい種別ごとの生活全般に関する相談を実施します(サービスを必要とされていない方の相談にも対応)。

<ul style="list-style-type: none"> ・守口障害者生活支援事業所みみ(身体) ・わかたけ園(知的) ・地域活動支援センターシュポール(精神) ・さいな(精神) ・オールケア相談支援センター(児童) ・相談支援センターみらい(児童) 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者相談支援事業所 あん(精神) ・門真市障がい者相談支援センター ジェイ・エス (知的・身体・児童) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> *門真市立こども発達支援センター(児童) 18歳未満の相談を受けています </div>
---	--

③指定特定相談支援事業(計画相談)

障がい福祉サービスの調整、相談を実施します(計画作成やモニタリングの実施)。

守口市内に15事業所があります *別紙参照	門真市内に21事業所があります。 *別紙参照
--------------------------	---------------------------

○基幹相談支援センターは地域のワンストップ窓口としての機能もありますが、相談支援事業所の機能強化のための取り組み、他分野との連携強化の取り組み(官民共同で学習会の開催)、障がい福祉サービス事業所に向けて、研修や講演会の実施など、「地域づくり」にも積極的に取り組んでいます。

就労移行支援事業所

通所型の障がい福祉サービス

就労を希望する65歳未満の障がいのある方で、通常の事業所に雇用されることが可能と見込まれる方に、生活活動・職場体験等の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、求職活動に関する支援、適任に応じた職場の開拓、就職後における職場への定着のために必要な支援を行う事業所です。

利用期間は原則として2年間です。

- ★通所・訓練を通して生活リズムの安定・仕事に耐え得る体力をつける。
- ★通所実績は、就活において大きな強みになる。
- ★資格勉強、カウンセリング、グループワーク、企業実習など様々な事が可能。
- ★ご本人の所感と、支援スタッフや企業からの評価をすり合わせながら適した就労の形を探っていく。
- ★就職活動のスタートから内定、その後の安定までをフォローすることが出来る。



J S N門真



ぷらす守口



クローバー



ういず守口



アスク京橋オフィス

就労継続支援 A型事業所

障害者総合支援法にもとづいた福祉サービスの1つで、障がいや難病がある人が、雇用契約を結んだ上で一定の支援がある職場で働くことができるものです。事業所内での生産活動及び事業所外での就労などを通じて利用者が一般企業に就職するために必要な知識と能力を身につける支援を行っています。



就労継続支援 B型事業所

障がいや難病等があり、一般企業で働くことに難しさを感じる方に、生活面等の支援も行いながら、働く場所や訓練の機会を提供する障がい福祉サービスのひとつです。雇用契約を結ばないため、支払われる工賃は最低賃金より低い場合がほとんどですが、体調や特性に合わせた時間や内容で働くことができます。作業内容は各事業所によって様々です。医師の診断等により、障がい者手帳がなくても利用できることがあります。



アイ・i



ソラール



smile



すみれカンパニー

イベントで作ったお菓子を販売！！



まんまる



サニーデイ



くらし工房

ハローワーク (専門援助部門)

ハローワークとは、仕事をお探しの方や求人事業主の方に対して、さまざまなサービスが無償で提供する、厚生労働省が運営する総合的雇用サービス機関です。

「障がいのある方の職業相談窓口」では、障がいに理解のある専門のスタッフが、就職から職場定着まで一貫したきめ細かい支援を実施しています。

【支援メニュー】

- ・ 職業相談、求人情報の提供、応募書類の作成支援、面接指導を行います。
- ・ 必要に応じ、障がいの特性に応じた職業訓練や、専門機関による職業評価をご案内します。

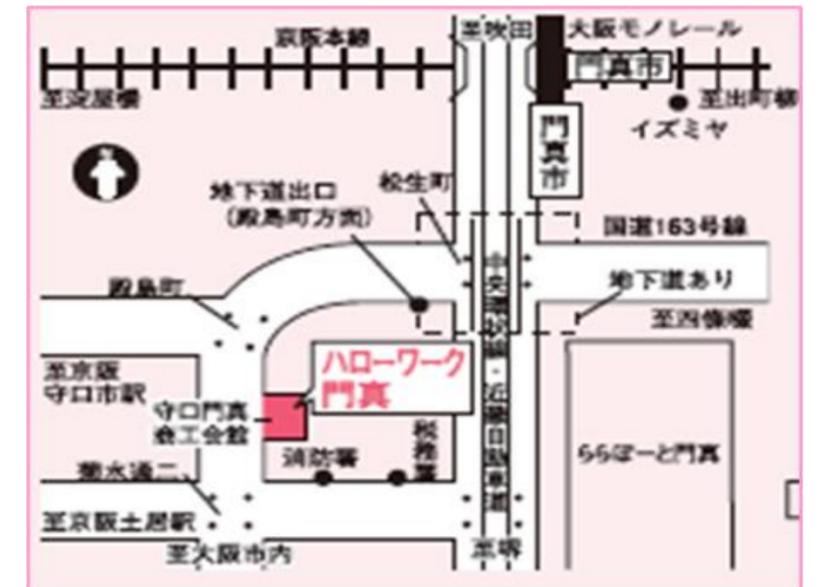
障害種別就職状況

		令和5年度		令和6年度(4~9月)							全体に占める割合
		就職件数	全体に占める割合	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計	
門真	就職件数	486		57	50	37	41	50	41	276	
	身体	110	22.6%	5	13	8	9	9	7	51	18.5%
	知的	100	20.6%	16	14	9	12	12	7	70	25.4%
	精神	251	51.6%	33	20	18	17	27	25	140	50.7%
	その他	25	5.1%	3	3	2	3	2	2	15	5.4%
大阪労働局	就職件数	8454		958	895	821	832	757	710	4973	
	身体	1644	19.4%	169	178	158	164	153	134	956	19.2%
	知的	1687	20.0%	211	233	176	180	151	142	1093	22.0%
	精神	4845	57.3%	541	456	451	463	420	409	2740	55.1%
	その他	278	3.3%	37	28	36	25	33	25	184	3.7%

門真の占める割合 5.7%



門真の占める割合 5.5%



府立支援学校

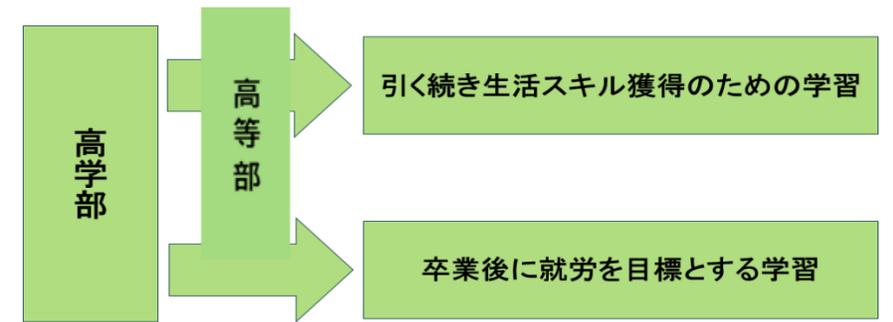
障がいや特別な教育的ニーズを持つ児童・生徒が通う学校。

小・中学部では生活面の自立に向けた取り組み①を、高等部からは各教科の学習に加え、作業や校内実習をおこない「働く力」を身につけていきます②③。卒業後は企業就労だけでなく訓練校、就労系の福祉サービスの利用など個々の力を高めていく様々な進路先があります④⑤⑥。また、より職業教育に重点を置いたカリキュラムを実施している高等支援学校もあります。

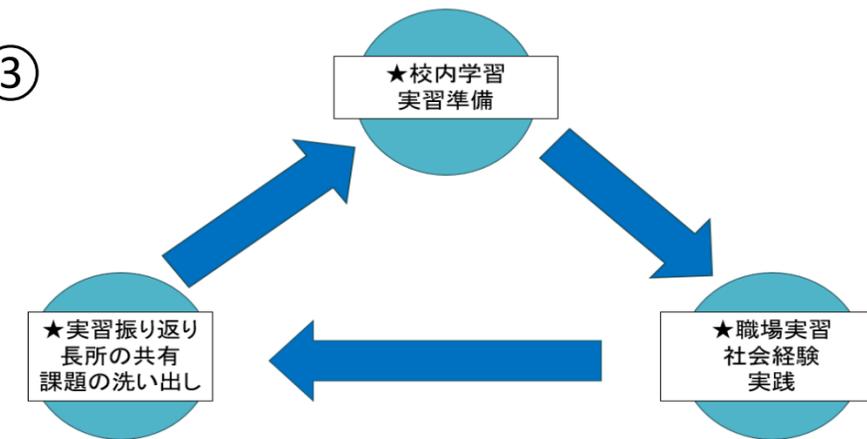
①



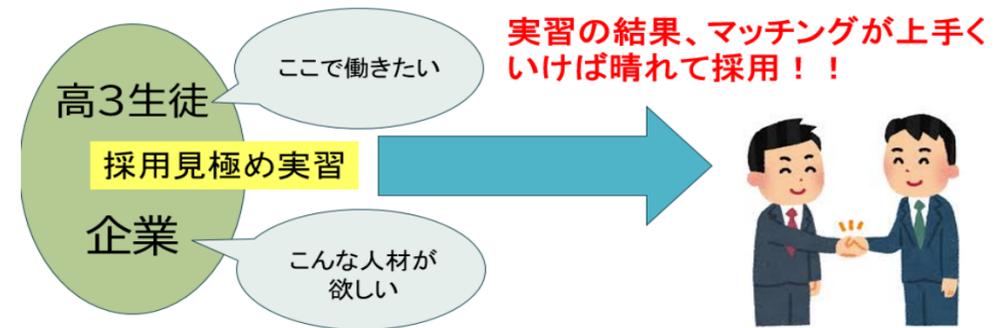
②



③



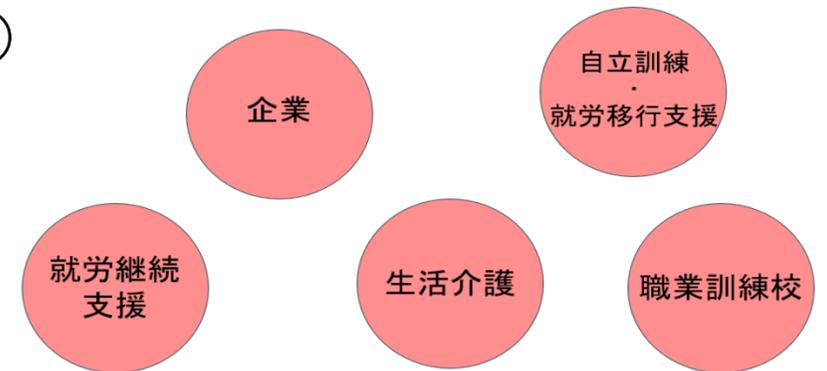
④



⑤



⑥



③企業へ複数回実習に行き就労に向けてのスキルの獲得や課題の克服に取り組みます。

⑤ステップアップしながら企業就労をめざします。

⑥自分の可能性を伸ばし、生き生きと過ごせる進路を選んでいきます。

大阪府教育委員会HP⇒
各種学校の案内があります。



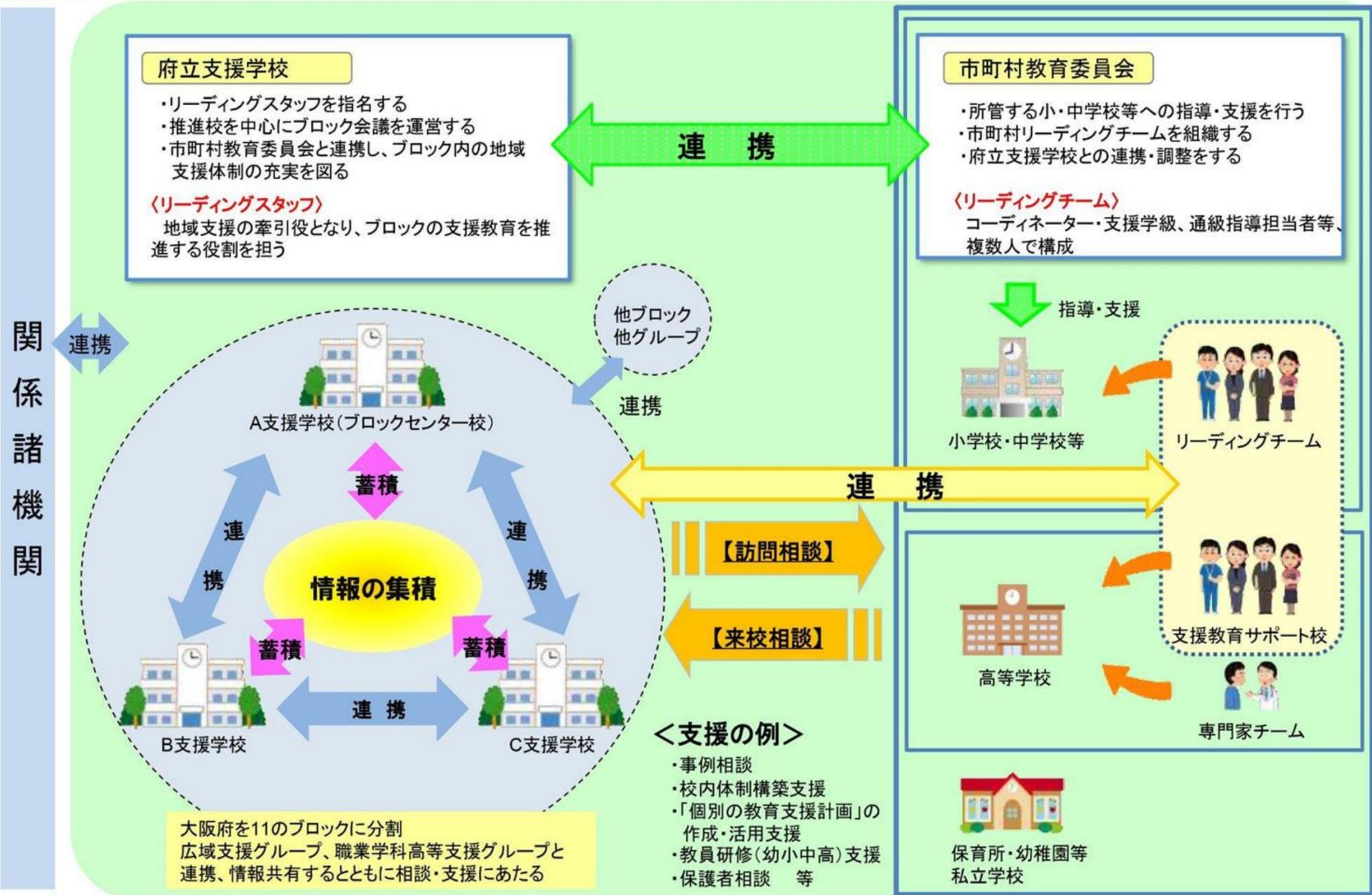


府立支援学校のセンター的機能

府立支援学校では、地域の小・中学校等*からの支援教育に関する様々な相談に応え情報提供を行っています。子どもたちが在籍する小・中学校等で、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を受けながら、誰もが安心して学ぶことができるよう校内体制づくりを支援します。

*小・中学校等とは、小学校、中学校の他、幼稚園、保育所、認定こども園、高等学校を含みます。

支援教育地域支援整備事業推進体制





エル・フェスタ
in 北河内西

ありがとうございました。



- ご質問やご相談はこちらまで。
→個別にご連絡させていただきます。



- こちらの資料および別冊子『就労と自立のための福祉の支援について』のダウンロードはこちらから。

